

昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員會議錄(速記)第七回

昭和九年年度一般會計 歲出ノ財源ニ充ツル 爲公債發行ニ關スル 法律案(政府提出)	昭和七年法律第一號 改正法律案(滿洲 事件ニ關スル)經費支 辨ノ爲公債發行ニ關 スル件(政府提出)	滿洲事件ニ關スル 時賜金トシテ交付スル ノ公債發行ニ關スル 法律案(政府提出)	大藏省改正金部特別會 計法改正法律案	政府提出	大正九年法律第十二 號改正法律案(所 得稅法ノ施行ニ關 スル件)(政府提出)	昭和九年年度一般會計 歲出ノ財源ニ充ツル 爲公債追加發行ニ關 スル法律案(政府提出)	絲價安定融資擔保生 絲買收法改正法律 案(政府提出)	日本銀行特別融通及 損失補償法改正法律 案(政府提出)
---	---	--	-----------------------	------	---	---	----------------------------------	-----------------------------------

出席委員左ノ如シ

委員長 竹内友治郎君

理事小笠原三九郎君 理事金井 正夫君
理事平野 光雄君 理事中 亥歳男君

犬養 健君 門田 新松君

増田 金作君 小野寺 章君

山口忠五郎君
豐田
收君

江島 鏡三君
増田 幸一君

牧山 耕藏君
小川 郷太郎君

同月一日大正九年法律第十二號中改正法律案（所得稅法ノ施行ニ關スル件）（政府提出）、昭和九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案（政府提出）、絲價安定融資擔保生絲買收法中改正法律案（政府提出）及日本銀行特別融通及損失補償法中改正法律案（政府提出）ノ審査ヲ本

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 上塚司君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年度法律第一號中改正法律案（滿

洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ

關スル件）（政府提出）

滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付ス

ル公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

大藏省預金部特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○竹内委員長 是ヨリ開會致シマス、昭和

九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七年法律第一號

中改正法律案、滿洲事件ニ關スル一時賜金

トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案

右三件ヲ議題ト致シテ會議ヲ進メマス、直

チニ討論ニ入りマス——小笠原君

○小笠原委員　私ハ只今議題トナッテ居リ

マスル諸法案ニ對シマシテ、政府原案通り

賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、最モ議論

ノアリマシタ赤字公債ニ付キマシテモ、内

外ノ情勢ニ鑑ミマシテ 是ハ已ムヲ得サル

モノアルヲ認メ之ヲ承認ス者デアリマ

ス、特ニ八年度ノ六億五千九百五十萬圓ニ
較ベマシテ、九年度ハ、今年度ノ追加豫算

トシテ現ハレマシタル千六百七十六萬圓ヲ加算致シマシテモ、合計六億二千三百五十八萬四千圓トナツテ、其間約三千六百萬圓ヲ減ジテ居リマスルコトハ、一方軍事費ガ八年度ノ八億四千萬圓ニ較ベマシテ九億四千七百萬圓ト云フ、所謂「レコード」數字ニ達シテ際ト致シマシテハ、假令一億三千萬圓ノ自然増收アリトハ申シナガラ、財政當局者ノ御苦心ト御努力トヲ多トセネバナラヌト存ズルノデアリマス、希クハ將來一層其努力ヲ繼續セラレマシテ、赤字公債總額遞減ノ計畫ヲ確立セラレンコトヲ望ンデ已マザル者デアリマス、唯此赤字公債、財政建直シノコトニ付キマシテハ、是ハ私ガ申上ゲル迄モナク、所謂其定石ト致シマシテ、第一ニ經常歳出ハ經常歳入、即チ恒久的ノ財源ノ範圍デ支辨シテ行クト云フコト、第二ニ經常化セル臨時費、是ハ其額ガ約三億近クニ達スルデアラウト存ジマスガ、是等ハ經常費同様恒久財源ノ範圍ニテ支辨シテ行クト、此二ツノ原則ヲ確立セネバナラヌト存ズルノデアリマス、サウシテ此二原則ヲ樹立スル爲ニハ、消極的ニハ國費ノ節減、積極的ニハ國庫ノ増收ヲ圖ラネバナラヌコトハ、是ハ申ス迄モアリマセヌガ、併シ積極的ニ増稅其他收入増加ヲ圖ルガ爲ニ

ハ、先以テ負擔ノ均衡ヲ目的トスル稅制ノ根本的改革ト云フコトヲ必要トシ、ドウシマシテモ假スニ若干ノ時日ヲ以テセネバナラヌト存ジマスルガ故ニ、消極的ノ方面デ徹底的ノ行政整理、無駄ノ排除等ヲ急ガネバナラヌト思フノデアリマス、其中デ最モ必要ナコトハ、國債利子ノ減少デアリマシテ、ソレガ爲ニハ第一ニ、內國債中四分半利以上ノ高利公債ヲ四分利以下ノ低利公債ニ借替ヘルコトガ必要デアルト存ジマス、我ガ內國債六十四億餘圓ノ中、既ニ据置期間ヲ經過シ、任意償還ヲ爲シ得ベキモノガ五十七億餘圓ニ達シ、中四分半利以上ノモノガ四十七億四千餘萬圓ニ上ツテ居リマス、今之ヲ一率ニ四分利ニ借替ヘマスコトガ出來レバ、五分利公債四十億二千五百萬圓ニ對シ四千二百五十萬圓、四分半利公債七億一千五百萬圓ニ對シ三百五十七萬五千圓、合計四千三百八十二萬五千圓ノ利拂ノ減少ガ出來ル譯デアアル、而モ公債ノ借替ハ、過日來申上ゲタ如ク、新規發行ト異ツテ、市中金融ニモ非常ナ影響モナケレバ、通貨政策ニモ何等支障ヲ來サナイノデアリマス、否寧ロ其反對ニ政府ノ所期シテ居ラレル所ノ低金利政策ヲ助ケ、新規公債ノ發行條件ヲ有利ナラシメ、民間ノ社債利廻等ヲ低下シ、

加フルニ帝國財政ノ根基ヲ安定強固ナラシメ、眞ニ百利アツテ一害ナキコト、先ニ私ガ申シタ通りデアリマス、之ニ對シテハ速ニ適當ノ處置ヲ講ゼラレンコトヲ御願致スノデアリマス

第二ニ高利外債ノ借替ノコトデアリマスガ、是モ極ク急務中ノ急務ト考ヘマス、我ガ外債ガ四分半利以上六分半利マデノ分ガ、合計勘定デ十億六千百萬圓ニ上ツテ居リマスガ、若シ之ヲ四分利ニ借替ヘルナラバ、一年二千萬圓以上ノ利拂減ヲ來スノデアリマスシ、國家ノ財政ニ非常ニ寄與スル所ガ多イト思フノデアリマス、今日斯ウ云フヤウナ外債ヲ原發行地デ低利借替ヲ爲スコトハ、償還期限ノマダ來テ居ラヌ關係モアリ、又國際情勢ニ鑑ミテ是ハ無理デアラウト思ヒマスガ、併シセメテ是等外債ノ中デ、所謂弗買ニ依リ邦人ノ所有ニ歸シタ分五億四千八百萬圓アリマスカラ、之ヲ政府ニ於テ買上肩替リヲシテ、適當ノ方法ニ於テ國庫利拂ノ減少ヲ圖ラレンコトヲ切望スル次第デアリマス、尤モ我ガ財界ノ實情ト爲替政策等ノ關係モアリマシテ、一時ニ之ヲ行フコトハ容易デナイト存ズルノデアリマスガ、政府ニ於キマシテモ、其邊十分御考慮ノ上ニ善處セラレンコトヲ望ムノデアリマ

ス、ソコデ私共ハサウ云フヤウナ見地カラ致シマシテ、左記二ツノ條項即チ

一、政府ハ內國債中据置期間經過ノ分ニ對シ速ニ之ガ低利借替ヲ爲スベシ

一、政府ハ外國債特ニ邦人所有ノ外國債ニ對シ速ニ適當ノ措置ヲ講ズベシ

斯ウ云フ二條項ヲ希望致シテ置ク次第デアリマス、尤モ是ガ實行ニ當リマシテハ、非常ナル御用意ト御苦心トヲ要スルコトハ固ヨリデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ、吾々ノ意ノアル所ヲ諒トセラレテ、總テ宜シキヲ制セラレンコトヲ望ム次第デアリマス

次ニ滿洲事件ノ行賞公債ノコトニ付テ一言致シマス、今回ノ滿洲事變ガ、其重大性ニ於キマシテ、日清日露ノ兩戰役ニモ遜ラザルモノデアリ、又曠古未曾有ノ大業デアリマスコトハ、過日本委員會ニ於テ、齋藤首相ガ荒木前陸相ノ言葉ヲ御肯定ニ相成ツタ通りデアリマス、彼ノ明治維新ト云フモノガ、王政ヲ復古シ、自由民權ノ爲ニスル政治ノ革新デアッタトシタナラバ、昭和ノ聖代ト云フモノハ、實ニ我ガ大和民族、日本國民ノ生活確保ヲ爲スベキ、經濟革新ヲ成就スベキコトデアルト言ハレテ居ルノデアリマス、而シテ此滿洲事變ハ、現在世界ニ澎湃トシテ漲ツテ居ル、所謂他國ノ「ブロッ

ク」經濟ニ對抗シテ、我が日本ノ經濟的地歩ヲ確立サセタノミナラズ、世界ノ日本ヲシテ日本ノ世界ニ躍進サセタ曉鐘トモ申スベキモノデアリマス、斯様ナ意味合ヨリ致シマシテ、日清戰爭トカ、日獨戰爭トカニ比較シテ、日ヲ同ジウシテ語ルベカラザルハ勿論、西伯利事變トカ、濟南事變ナドハ、根本的ニ其性質ヲ異ニシテ居ルモノト言ハネバナラヌト存ジマス、私ハサウ云フヤウナ事實ニ鑑ミ、且ツ眞ニ寡ヲ以テ克ク衆ヲ制シ、短日月ノ間ニ所期ノ目的ヲ達成セラレタル、我が忠勇ナル所ノ將兵各位ニ對シテ、深甚ナル謝意ヲ表シマスト共ニ、出來得ルダケ厚ク行賞セラレンコトヲ望ミ、又今回ノ事件程、銃後ニ於ケル國民ノ一致協力ヲ示シタコトモ稀デアリマスガ故ニ、ソレ等國民ノ代表者等ニ對シテモ適當ノ行賞アリ、萬一ニテモ内心不平不滿ヲ有ツ者一人モ是アラザルヤウ、切ニ慎重考慮ヲ拂ハレンコトヲ望ム者デアリマス、尙ホ行賞ニ當リマシテハ、其濫賞ヲ戒メネバナラヌコトハ固ヨリデアリマスガ、厚キニ過グルトモ薄キニ過グルコトナク、廣キニ失スルトモ狹キニ失セザルヤウ、特ニ御注意ヲ望ム者デアリマス、尙ホ古語ニモ賞ハ急ギ罰ハ延ベヨト云フコトガアリマス、其邊十分心

セラレテ、迅速ニ是等ノ事ヲ御取計アランコトヲ望ミ、諸法案ニ對シ總テ原案通り賛成スル者デアリマス

○中委員 私ハ民政黨ノ同僚諸君ノ御同意ヲ得マシテ、昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件ニ對シマシテ、原案ニ賛成ノ意思ヲ表スル者デアリマス、但シ政府ニ向ッテ一二ノ希望ヲ申上ゲタイト存ジマスガ、是ハ本會議ノ討論ノ際ニ讓ルコトニ致シタイト存ジマス、以上原案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○野中委員 私ハ今議題ニナッテ居リマス諸法律案ニ對シマシテ、賛否ノ意思ヲ本席上ニ於テハ表現致シマセヌ、何レ本會議ノ席上ニ於キマシテ申上ゲタイト思ヒマス

○竹内委員長 討論ハ終結致シタモノト認メテ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○竹内委員長 討論ハ終結致シマシタ、採決ヲ致シマス——採決ニ先立チマシテ一言致シマス、小笠原君提出ノ希望條項ニ對シマシテハ、其次第ヲ委員長カラ本會議ニ報告スルコト、致シマシテ、特ニ採決スルコトハ致サヌ考デゴザイマス——然ラバ採決致シマス、今議題ニナッテ居ル三案ニ對シテ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○竹内委員長 然ラバ原案通り可決致シタルモノト認メマス、次ニ大藏省預金部特別會計法中改正法律案、之ヲ議題トシテ討論ニ入リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○竹内委員長 別ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○竹内委員長 然ラバ原案通り可決シタルモノト致シマス、是ニテ以上四案ハ決定致シマシタ——他ノ諸案ニ對シテハ追テ更ニ會議ヲ開キマス、本日ハ之ニテ散會致シマス
午前十一時三十分散會

昭和九年三月二日印刷

昭和九年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社